

秋季
企画展

静物画展Ⅱ

色と形のあわい

2023年9月8日(金)～10月28日(土)

現在、十八親和アートギャラリーでは、季節展示室と絵画展示室1、ホワイエに於いて秋季企画展「静物画展Ⅱ」色と形のあわい」を開催しております。

絵画の主題として根強い人気のある静物画は、画家によって選定された花や日用品の品などの組み合わせや、巧みな画面構成が魅力のひとつです。また作品に描かれる情景は、モチーフの他にも描画材や技法によって様々な表情をみせ、物とそれを形作る色彩表現の奥深さに気づかせてくれます。本展では、国際的に活躍した岡田謙三とマナブ間部の油彩画に加え、郷土ゆかりの北村綱義のパステル画、島内きみの油彩画など9名の画家による10点をご紹介します。この内、5点が初公開となります。

島内きみ(しまうちきみ)・・・1916～2012。佐賀県生まれ。長崎県女子師範学校卒業。小佐世保小学校教諭時の1938年に第2回新文展で初出品入選。53年フランス留学。58年東京へ転居、晩年は横浜に移る。国画会を中心に活躍したほか、郷土における後進の育成にも尽力した。85年長崎県立美術館にて回顧展開催。

十八親和アートギャラリー

鑑賞無料



【開館時間】10:00～16:00(入館は15:30まで)

【休館日】日・月・祝日、年末年始(12/30～1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856

西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分

島内きみ「まほろばを偲う」1971年制作 油彩画 P100号